

はじめに

2004年4月、広島大学は国立大学法人として新しくスタートしました。同じ4月、経済学部と法学部に所属する研究者は、研究と大学院教育に重点を置くべく大学院社会科学研究科に改組されました。これにあわせて当センターは、経済学部附属から大学院社会科学研究科附属に移行いたしました。

当センターは、今後、これまでどおり経済学に軸足を置きながらも、学内外の多様な研究者や調査研究機関とのいっそうの連携の促進によって、中国・四国地方を中心とした地域の産業経済、企業経営、行財政システム等について、より多面的で実践的な研究活動を展開していきたいと思っております。引き続きご支援・ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

さて、2003年11月に開催いたしました「第16回研究集会」の記録をお届けいたします。この研究集会は、「地方からの変革と地域経済」という統一テーマのもと、東京大学の竹内佐和子先生の基調講演をはじめ、当センターの研究員・客員研究員が中心となって実施した広島大学地域貢献研究推進事業の成果報告、8件のシンクタンク関係者の報告などから構成され、非常に密度の濃いものとなりました。

この報告書を読まれて当日の活気と熱気の一部を想起していただければ幸いです。

おわりになりましたが、研究集会にご参加・ご協力いただいた関係者の方々、そして研究集会の実施と報告書の刊行にご支援・ご尽力いただいております地域経済研究推進協議会（会長：堀内日出夫中国経済連合会専務理事）にあらためて感謝申し上げます。

2004年6月

広島大学地域経済システム研究センター
センター長・教授 伊藤敏安